

提 言 書



中央区区民会議

子どもの居場所づくりに対する提言書

「子どもの居場所」の一つとして、地域やNPOによる「子ども食堂」や「無料学習支援」が運営されておりますが、今後、「子ども食堂」及び「無料学習支援」の活動を充実させていくために、次の事項について実施していただきたく提言いたします。

- 1 包括連携協定を締結している大学等に対し、学生ボランティアの働きかけを行うとともに、学生ボランティアが継続的に活動できる受入体制を構築する。
- 2 ボランティアを始めたいと考えている人へのサポートを更に充実する。
- 3 既存団体が抱える個々の課題を積極的に聴取し、支援体制を拡充する。
- 4 「子どもの居場所づくり」に関する情報や市の支援・取組について、情報発信を更に推進する。

中央区区民会議は、第7期において中央区基本計画に掲げた目指す姿・取組目標を実現するため、「発言する区民会議」として市及び関係団体に対して、提言活動等を実施しております。その活動の一つとして、子どもの居場所の一つである「子ども食堂」と「無料学習支援」について議論をしてまいりました。

「子ども食堂」や「無料学習支援」を立ち上げた後、担い手（ボランティア）の不足により運営が成り立たなくなる事例があります。子どもたちが気軽に参加できる場の充実を図るためには、年齢が近い学生のボランティアが必要です。さらに、子どもたちが学習意欲を持つきっかけに繋がる学習支援も学生には期待できます。

そして、ボランティアを始めたいと考えている人の中には、自分でも担えるかと不安を持ち、なかなか踏み込めない方がいます。ボランティアを増やすためには、そのような方へ、必要に応じてサポートを行うことも重要であると考えます。

また、総合相談窓口が設置されていますが、既存団体が抱える個々の課題に対しては、個別に聞き取りや状況確認を行うなど、より相談しやすい環境と支援する体制が必要と考えます。

既存団体が安定した運営ができるよう支援をすることは、新たな団体の立ち上げにも繋がり、子どもの居場所が充実することから、提言させていただきます。

令和6年7月5日

相模原市長 本村 賢太郎 殿

中央区区民会議
会長 飯島 泰裕